

総合分析

試験区分	一般 (1日目)		出題分野		本年度出題テーマ一覧					
制限時間	70分 (物理単科70分)		大問数	全 4 問 <th>第 1 問</th> <td>衝突とばねと摩擦</td>	第 1 問	衝突とばねと摩擦				
合格に要する能力 (5段階)		力学 電磁気学 波動 熱力学 原子物理		33% 14% 29% 21% 2%	第 2 問	質量分析器				
基礎力 応用力 知識力 把握力 見極力		本年度 解答形式		選択肢 50% 答えのみ記述 50%	第 3 問	光の干渉				
合格に要する能力 (5段階)		本年度 出題詳細分類		等物剛運工衝運円單万ヶ点コ電非電磁電電コ交波固ド干偏熱ポ光電工核 加体体動ネ突動運振有ブ電ン気線場場流磁誘流の有ツラ反射光容態力ア体機の子ネ反 度の度方程ギリと力積法則電子運動場と屈折潜熱式第一の混合波ギ つりり運動合いと仕事則電位	第 4 問	封入気体の状態変化				
基礎力	2.4	原理についての理解		11%	特殊問題の有無	近似計算なし グラフなし				
応用力	3.1	演習経験による慣れ		6%	正誤問題なし	理由記述なし 数値計算あり				
知識力	1.9	用語を正確に覚えているか		7%	標準	標準				
把握力	2.9	臨機応変に状況を把握する力		3%	一次合格に必要な正答率 (予想)	68%				
見極力	4.0	解きやすい問題を選択する力		2%	標準	標準				
特記事項	特になし									
総合評価										
難度	2.9	最難を 5 とする問題自体の難度		標準	一次合格に必要な正答率 (予想)					
分量	75分	完答に要する時間 (制限時間は70分)		やや多い	68%					
入試の特徴と対策	<ul style="list-style-type: none"> 概ね法則の運用に関する応用的な出題である。物理計算への慣れが必要となる。 同時に複数の事柄への理解を要する出題が多い。独力で解法を組み立てる力を要する。 									
入試から見る 大学が求める学生像	殆どの大問で最後の小問(5)において難度が跳ね上がる。それ以外を確実にこなし、どの大問の(5)を解くかの見極めが合格の要である。総じて、理解した知識を正確に利用する力と、難問に挑む姿勢が求められているのだろう。									